



秋のミュージアム・ツアー

【実施日】

友の会会員限定 参加者募集中！

平成29年 **10月22日(日)**

① 原爆の図 丸木美術館 企画展「丸木スマ」展

※ 応募方法、行程は裏面をご参照ください。



丸木位里・丸木俊
《原爆の図 第5部
少年少女》1951年

② ヤオコー川越美術館
三栖右嗣記念館

③ 河鍋暁斎記念美術館
「かんかん、にっこり 表情」展

④ 埼玉県立近代美術館
開館35周年記念展
「ディエゴ・リベラの時代」



三栖右嗣 秋日 (油彩)



河鍋暁斎筆「十二月之内五月MAY」
(2017年9・10月展示作品)



埼玉県立近代美術館外観

今年度秋のミュージアム・ツアーは、お隣埼玉県へ。原爆の図丸木美術館、ヤオコー川越美術館、河鍋暁斎記念美術館、そして最後に開館35年を迎える埼玉県立近代美術館を訪ねます。

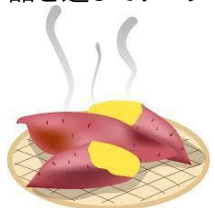
原爆の図丸木美術館 企画展「丸木スマ」展 原爆の図丸木美術館は、画家の丸木位里・丸木俊夫妻が、共同制作《原爆の図》を、誰でもいつでもここにさえ来れば見ることができるといふ思いを込めて建てた美術館です。

丸木夫妻は、広島に投下された原子爆弾の様子をいち早く目撃し、代表作となる《原爆の図》をはじめ、戦争や公害など、人間が人間を傷つけ破壊することの愚かさを生涯かけて描き続けました。この美術館では、そうした丸木夫妻の生命への思いを受け継ぎながら、芸術家としての二人の活動を紹介しています。

ヤオコー川越美術館 三栖右嗣記念館 川越に本部を置くスーパーのヤオコーが2012年3月に開設した美術館で、コレクションする作家三栖右嗣の作品は、単に写真のように対象を精緻に写し取るリアリズム絵画ではなく、彼の優しい視点が反映された人間味のあるもので、180点余の所蔵作品が順次展示されています。

河鍋暁斎記念美術館 企画展「かんかん、にっこり表情」展 河鍋暁斎記念美術館は、幕末から明治前半に活躍した狩野派絵師・河鍋暁斎を顕彰するため、暁斎のひ孫である河鍋楠美氏が1977年に創設し、収蔵・展示のほか様々な研究活動等を行っています。今回は表情に注目した企画展を鑑賞します。

埼玉県立近代美術館 企画展「開館35周年記念展 ディエゴ・リベラの時代 メキシコの夢とともに」 ディエゴ・リベラ(1886-1957)はメキシコを代表する画家です。メキシコ革命後の1920年代、その思想を民衆に伝える壁画運動に尽力し、世界的な注目を集めました。その一方、肖像画や風俗画においても、優れた作品を残しています。厳選された作品を通してリベラの画業をたどりながら、同時代の画家も紹介し、メキシコの近代美術の魅力を探ります。



なお、ヤオコー川越美術館鑑賞後は、昼食を含め、大江戸(東京)に対し小江戸と呼ばれる川越、その市街地に蔵造りの建物が並ぶ一角、「蔵造りの町並み」は、江戸の町並みが今なお残るエリアです。黒漆喰の壁に、重厚で豪華な蔵造り商家が軒をつらね、道行く観光客で賑わいをみせています。懐石料理、和食、洋食、さつまも料理や太麺焼きそばなど多くのお店がありますので、町並みを散策しながらお気に入りのお店を探していただき、ゆっくりお食事をお楽しみください。